

鹿児島県立錦江湾高等学校図書部だより

# まほら

2021.10 No.04

## 10月27日～11月9日は読書週間です

### ～読書週間が始まった理由～



第1回目の読書週間は終戦間もない1947年でした。「読書の力によって、平和な文化国家を作ろう。」という志のもと行われました。

この読書週間が大反響を呼んだため、翌年の1948年からは期間が延ばされ、文化の日を中心とした10月27日～11月9日の2週間で行われるようになりました。

これを機にみなさんも本を1冊手にしてみたいかでしょうか？



## Trick or treat!



皆さんは、トリックオアトリートの意味を知っていますか？トリックは【いたづら】で、トリートは【おかしをもらう】という意味です。つまり『お菓子をくれなきゃいたづらするぞ!』という意味になります。

ある国では、ハロウィンの夜に帰る家がなく、外をうろついている悪霊たちが家に入ってこないようにお菓子を渡して「元の世界にお帰り下さい」とお願いする意味もあったそうです。



## ～椋鳩十小話～

先日の読書LHRで紹介した椋鳩十さんの話を覚えていますか？

本名は久保田彦穂といます。鹿児島で執筆活動をした

椋鳩十さんの作品は、先日紹介した作品以外にも沢山あります。例えば、『南国動物記』や『野生の谷間』、『山の恋』などです。これらの題名から分かる通り、椋鳩十さんの作品は動物が出てくる物語が沢山あります。

まほら館に椋鳩十さんの作品コーナーを設置したので、是非見に来てください!!



## 錦江湾高校推薦図書 2021



『錦江湾高校推薦図書』とは、先生方が選ぶ高校生みなさんに読んでほしい本です。今年度も、『錦江湾高校推薦図書』を先生方の紹介文とともにまほら館にて展示しています。先生方が紹介された様々なジャンルの本をぜひこの機会に手に取ってみませんか？



家庭科 永田先生

### 象の背中



著者 秋元 康  
出版社 扶桑社

主人公は肺ガンで余命半年の宣告を受けた48歳のサラリーマン。日本人の死因の一位とされるガン。同じ様なことは誰にだっておこりうる。

自分や家族が余命宣告された時、どうするのが良いのだろうか？限りある人生だからこそ生きていることを楽しみ、大切な人との悔いの無い別れができればイナ！と思える作品。



理科 藤野先生

### FACT FULNESS



著者 ハンス・ロスリング  
オーラ・ロスリング  
アンナ・ロスリング・ロンランド  
上杉 周作 関 美和訳  
出版社 日経 BP 社

世界の物事を自分のイメージだけでとらえず一度立ち止まって見直すことが大切だと思います。意外と世界は悪くないぞと思えるはずですよ。



社会科 松井先生

### ここは今から倫理です。



著者 ひずき優 雨瀬 シオリ  
出版社 集英社

NHKでもドラマ化された漫画のノベライズ本になります。漫画でも、小説でも苦しいときに読むと、励ましてくれる素敵な本です。作中に「愛こそ貧しい知識から、豊かな知識への架け橋である」という言葉があります。辛い時に、このように励ましてくれる名言がたくさんあります。この本を読み、ぜひ「倫理」という教科を身近に感じて欲しいです。



公民科 中西先生

### 水は答えを知っている



著者 江本 勝  
出版社 サンマーク出版

水に「ありがとう」という言葉を見せ、凍らせると、きれいな結晶ができるそうです。逆に「ばかやろう」という言葉を見せると汚い形、あるいは、結晶ができないそうです。心が通じるのでしょうか。



社会科 前原先生

### 九つの、物語

著者 橋本 紡  
出版社 集英社



大学生のゆきなの前に、長く会っていなかった兄がいきなり現れた。女性と料理と本をこよなく愛し、奔放に振舞う兄に惑わされつつ、ゆきは日常として受け入れていく。いつまでもいつまでも幸せな日々が続くと思えたが…。ゆきははやがて、長く不在だった理由を思い出す。(あらすじ引用) この本は、先生が高校生の時に会った本です。心がふっと軽くなるような、人とのつながりの大切さを感じるような本です。読了後、トマトスパゲティが食べたくなること間違いなしです!!



理科 山下先生

### わかりやすさの罫

著者 池上 彰  
出版社 集英社



ネット社会になり誰でも簡単に情報を受けとるだけでなく発信もできる時代。新型コロナウイルス関連だけでも、様々な情報が、あふれています。その情報はホンモノですか? 「わかりやすい」「心地よい」情報があふれる時代だからこそ真実を「知る力」はますます重要です。



数学 指宿先生

### 本当の自由を手に入れる

### お金の大学

著者 両@リベ大学長  
出版社 朝日新聞出版



学校ではあまり習わない「お金の勉強」ができる本になっています。〈貯める〉〈稼ぐ〉〈増やす〉〈守る〉〈使う〉の5つの力を身につけるにはどうすればいいか絵もたくさん入っていて、とても読みやすく書かれています。また、YouTubeにも動画があるので、気になった人は、気軽な気持ちで見てください。



国語 末吉先生

### おまじない

著者 西 加奈子  
出版社 筑摩書房



メッセージが明確な作品は苦手だ。敢えて心そのままに言うと、「お前に決めつけられなくても、自分で考えるわ! ありふれた思考・価値観を押しつけるな!」と思ってしまう。西加奈子の作品は、ドキドキするようなエンターテイメントが起こるわけではない。それでも、こちらの価値観を揺さぶる材料だけくれて、どう考えるかをこちらに全て任せてくれる。あなたは、本を読むことで何を考えますか。



理科 北野先生

### 手紙

著者 東野 圭吾  
出版社 文藝春秋



この本は、映画化もされているので知っている人も多いと思います。主人公の兄が弟のために犯罪を犯し、刑務所に入ります。そこから主人公の人生は一変します。社会の中で犯罪者の家族という「差別」に苦しめられていきます。人の心にある差別、家族、罪を犯すということ、そして社会に生きるということ…なかなか重い内容です。私を感じたのは、誰もが差別の心を持っているということです。差別を受け続けた主人公自身でさえ持っています。今、このコロナ禍で感染者や医療従事者への差別があります。また、人種、LGBTなどの問題もありますね。社会の中で生きる私たちは、自分の心にある差別とどう向き合って生きていかなければならないのか、皆さんもちょっと考えてみてくださいね。



国語科 若松先生

### 広告のヒロインたち

著者 島森 路子  
出版社 岩波書店



1946 (昭和 21) 年から 1998 (平成 10) 年までの、広告に写る女性たちが紹介される。資生堂の広告で、前田美波里は西欧の美に迫った。山口小夜子は日本美を再発見させた。松田聖子は女性を時代のシンボルではなく等身大にした。篠原ともえは…。美とは何か、女性とは何か、時代とは何か…。



英語科 堂脇先生

### メシが食える大人になる!

### よのなかルールブック

著者 高濱 正伸  
出版社 日本図書センター



厳しい世の中を生きていくみなさんへ、きれいごとではない、正直なことばで50の大切なことをルールとしてまとめてあります。例えば…すぐ「きらい」「苦手」とって自分の世界をせばめない。見た目ではなく中身で勝負する人になる。迷ったときは、キツイほうを選ぶ。努力が、報われるとはかぎらない。それでも努力し続ける。「いちばん大切なことはだれも教えてくれない」ということを知っておく。などなど。とてもわかりやすく書いてあります。



養護 平山先生

### 僕とおじいちゃんと

### 魔法の塔

著者 香月 日輪  
出版社 角川書店



なんと! この本は6巻までしか出版されていませんが、未完で、著者が亡くなってしまっています。おじいちゃんの一言一言が染みます。